

第4章 日常生活圏域の設定

1. 日常生活圏域の基本的な考え方

第3期以降の介護保険事業計画においては、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるようにするため、市内を日常生活をベースとした圏域に分け、その圏域ごとに地域密着型サービスのサービス量を見込むこととされています。日常生活圏域の範囲は、地理的条件、人口・交通事情その他社会的条件及び介護給付等対象サービスを提供するための施設整備の状況などを総合的に勘案して定めます。

2. 生活圏域の設定

本市は平成17年1月、旧12市町村の合併により約18万人を擁し、県内第2の人口規模を誇る自治体となりましたが、地理的には島しょ部から山間部まで多種多様の地域特性を含むため、日常生活圏域は地域ごとの特性に配慮して定める必要があります。

前期計画においては、それぞれの地域特性を考慮して、陸地部においては中学校区または旧行政区を、島しょ部においては各島を単位として市内全域で16か所の日常生活圏域を設定しています。

前期計画と比べて、地理的条件・社会的条件・施設整備の状況などに大きな変動がないことから、第4期計画も引き続きこの圏域設定を踏襲します。

3. 日常生活圏域の状況

平成20年3月現在の日常生活圏域ごとの人口・認定者数などの基礎データについては以下のとおりとなっています。

■基礎データ

単位:k m²・人・%

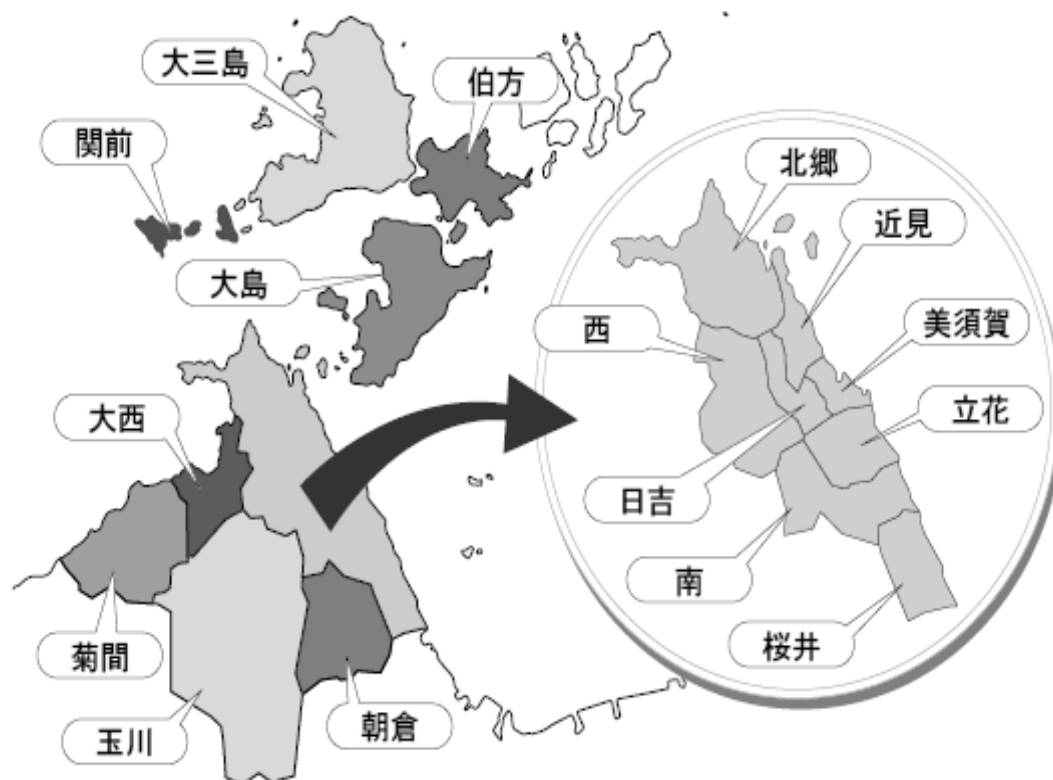
圏域	面積(概数)	人口	高齢者人口	高齢化率	認定者数	認定率
美須賀	3.6	8,154	2,497	30.6	587	23.5
日吉	4.7	17,168	4,770	27.8	1,010	21.2
近見	6.5	11,238	2,888	25.7	505	17.5
立花	9.4	19,655	4,309	21.9	818	19.0
桜井	9.1	15,599	3,508	22.5	679	19.4
南	16.3	19,103	4,308	22.6	817	19.0
西	18.4	18,034	3,948	21.9	720	18.2
北郷	22.5	15,341	3,943	25.7	739	18.7
朝倉	31.3	4,861	1,359	28.0	304	22.4
玉川	103.9	5,726	1,701	29.7	362	21.3
大西	18.8	8,784	2,035	23.2	343	16.9
菊間	37.0	7,120	2,396	33.7	438	18.3
大島	46.1	7,852	2,863	36.5	531	18.5
伯方	20.9	7,461	2,386	32.0	407	17.1
大三島	65.6	7,191	3,269	45.5	484	14.8
関前	5.5	654	377	57.6	74	19.6
計	419.6	173,941	46,577	26.8	8,818	18.9

日常生活圏域ごとの高齢者人口は、「日吉圏域」が最も多く、「関前圏域」が最も少なくなっています。高齢化率をみると、周辺部、特に島しょ部の高齢化が顕著であることがわかります。

また、認定者数も「日吉圏域」が最も多く、「関前圏域」が最も少なくなっていますが、認定率は、「美須賀圏域」が最も高く、「大三島圏域」が最も低くなっています。

			圏域名				圏域名
陸地部	旧今治市 旧波方町	1	美須賀	陸地部	旧朝倉村	9	朝倉
		2	日吉		旧玉川町	10	玉川
		3	近見		旧大西町	11	大西
		4	立花		旧菊間町	12	菊間
		5	桜井	島しょ部	旧吉海町 旧宮窪町	13	大島
		6	南		旧伯方町	14	伯方
		7	西		旧上浦町 旧大三島町	15	大三島
		8	北郷		旧関前村	16	関前

■日常生活圏域図



第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

資料編